



決算特別委員会

歳出総額は172億8,203万円

9月3日から8日まで、決算特別委員会（小笠原壽男委員長、松浦博幸副委員長）を開催しました。議長を除く全議員25人で構成するこの委員会では、平成20年度一般会計、特別会計8会計および西根病院事業会計と水道事業会計の企業会計2会計を審議し、いずれも認定することに決まりました。

歳入全般

問 給食費を無料化している自治体がある。本市でも検討できないか。

答 本市は保育費を低額にしているの、他の政策とのバランスが必要だ。本来、国の支援で実施すべき。

総務費

問 協働のまちづくり事業で、花いっぱい運動を3年目以降も継続できないか。

答 固定的ではなく、事業を発展的にとらえてほしい。

問 納税貯蓄組合連合会を解散するのか。

答 本年度いっぱい解散することが決定している。

民生費

問 特定高齢者把握健康診査とは。

答 特定高齢者、いわゆる将来介護が必要になりそうな高齢者を早めに把握し、介護状態に陥らないようにするための検査である。

問 配食サービスの条件は。
答 65歳以上の単身の方、

財政用語解説①

▼**一般会計**：税を主な収入源とし、福祉や教育など、基本的施策を行うための会計

▼**特別会計**：国民健康保険事業や公共下水道事業など、特定の事業を特定の収入（使用料など）で賄う場合に、その経理を一般会計から区別するために設けられた会計

▼**企業会計**：主にその事業収入で賄うことが求められる事業を経理するための会計。水道事業、工業用水道事業、軌道事業（路面電車やモノレールなど）、自動車運送事業（市営バスなど）、鉄道事業（地下鉄など）、電気事業、ガス事業は、地方公営企業法の適用を全部受け、病院事業は同法の財務規定などを適用することとしている。

▼**歳入**：市に入るお金
▼**歳出**：市が使うお金
▼**収益的収入・支出**：事業年度の企業の経営活動に伴って発生が予

各会計の決算状況

(金額は、1万円未満を四捨五入)

会計名		収入額	支出額	
一般会計		185億 241万円	172億8,203万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	35億2,654万円	34億5,633万円	
	後期高齢者医療	2億 979万円	2億 828万円	
	老人保健	3億3,771万円	3億2,869万円	
	公共下水道事業	10億9,321万円	10億3,736万円	
	農業集落排水事業	13億 457万円	12億8,988万円	
	浄化槽事業	4,300万円	3,784万円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	3億 490万円	2億8,571万円	
	索道事業	4,321万円	4,321万円	
企業会計	西根病院事業	収益的収支	7億 88万円	6億9,546万円
		資本的収支	2,760万円	3,624万円
	水道事業	収益的収支	5億1,100万円	4億8,742万円
		資本的収支	1億4,424万円	4億7,730万円

衛生費

高齢者世帯のほか、身体障害者で調理のできない方が対象である。

問 家庭相談員設置事業の相談の件数は。

答 虐待に関する相談が35件、保健相談が1件、非行相談などが6件、性格行動2件、不登校1件、その他28件で、全部で73件である。

問 家庭ごみの有料化について検討しているようだが、どういう理由で検討しているのか。有料化の方向か。

答 行革の一つとして検討した。現在の処理費用との関係では値上げが前提の状況

労働費

ではない。将来に向けた研究とご理解いただきたい。

問 市内での失業状況を把握できるか。

答 市町村別の具体的数値は、現状では無理である。

農林水産業費

問 「平成の百姓一揆」の経費と効果は。

答 経費は報償費や広告料で115万円。1100人に参加していただき、評価されたものと認識している。

問 安代林業センターのチップボイラー燃料費を、一般会計から支出する理由は。

答 今後減額の方向である。
問 アメリカとの貿易自由化協定FTAの影響は。

答 全面実施すれば、日本農業は崩壊する恐れがある。

商工費

問 岩手山焼走りマラソン全国大会で、ハーフまたはフルマラソン実施の考えは。

答 来年に向け協議中だ。安比のさわやかトイレ

が汚い。管理体制は。

答 清掃を担当している安比ゾートに要請したい。

問 盛岡の菓子店に売却された鬼清水グラウンドの県道側の土地は、今後も工場用地として維持するのか。

答 誘致企業が具体的になるまでの間はスポーツ振興、地域活性化に利用したい。

土木費

問 スマートインターチェンジ

設置の推進状況は。

答 検討中だ。事業化の見通しは1日500台だが、約260台という試算結果が懸案事項となっている。

問 都市計画の変更状況は。

答 県に申し出中で、関係機関としてJRと、大更駅前広場や東側、西側一帯の協議をしている。

問 市営住宅の火災報知器未設置戸数は。

答 7月の危機対策ですべて完了予定である。



ノスタルジックカー・ミーティングin 八幡平(6月14日)

定されるすべての収益と、それに対応するすべての費用

▼**資本的収入・支出**：企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入

▼**会計年度**：連続している自治体の仕事を区切り、議会や住民に説明するための資料を提示し、事務事業の実施状況を示すために設けられた一定期間。日本では4月1日から翌年3月31日まで

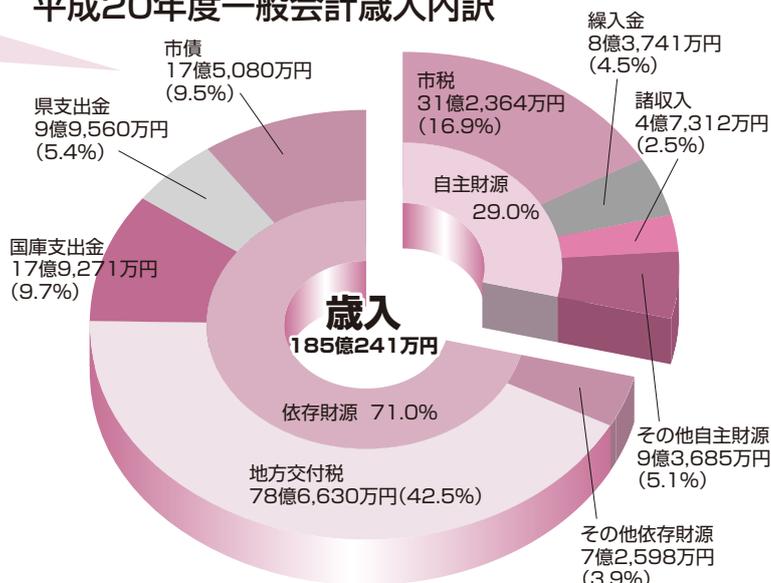
▼**会計年度独立の原則**：一定期間の財政責任を明らかにするため、会計年度中の支出は当該年度の収入を充てなければならぬとする原則。例外として繰越明許費などがある。

▼**繰越明許費**：経費の性質や予算成立後の理由で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使えるようにする予算

◎歳入のポイント

19年度決算と比べると、市税が6,103万円、諸収入が1,767万円減少し、その他自主財源が5,567万円、繰入金が2,148万円増加。自主財源比率は1.5割減少し29.2%となりました。一方、地方交付税は2億5,818万円、市債は3億3,530万円、国庫支出金は2億8,291万円、県支出金は4,822万円それぞれ増えています。国庫支出金17億9,271万円の主なものは、生活保護費負担金2億1,220万円、公共土木施設災害復旧事業費負担金3億1,108万円、定額給付金事業費補助金4億8,686万円などとなっています。

平成20年度一般会計歳入内訳



問 未決定だが、老人保健

答 高齢者医療制度が廃止になるという案が出ているが、老人保健制度との兼ね合いを伺う。

特別会計全般

問 政権が交代すれば後期高齢者医療制度が廃止になるという案が出ているが、老人保健制度との兼ね合いを伺う。

答 松尾の現在使われているテナスコートを2面、総開発計画で整備したい。

消防費

問 女性は、消防団に入団できるのか。

答 他の市町村では、女性の消防団員もいる。本市では、本部には登録しているが、分団には登録していない。

教育費

問 全国学力テストをどう評価しているか。

答 最終的には学力向上が目的であるが、授業改善の観点で有効と考えている。

問 平館公民館前のふれあいテニスコートは毎年中学生の利用が多く、一般の人が思うように利用できないようだが、今後の考えは。

答 松尾の現在使われているテナスコートを2面、総開発計画で整備したい。

総括質疑

問 新規就農者の育成に対しての振興策は。

答 農地の取得に関しては、



市子どもリーダー研修会(9月26日)

制度に戻すと非公式に言われている。はっきりとは、示されていない状況である。

問 公共下水道の接続数が落ちている主な理由は何か。

答 経済的、高齢者、核家族化や後継者がいないなどが、見合わせの原因である。

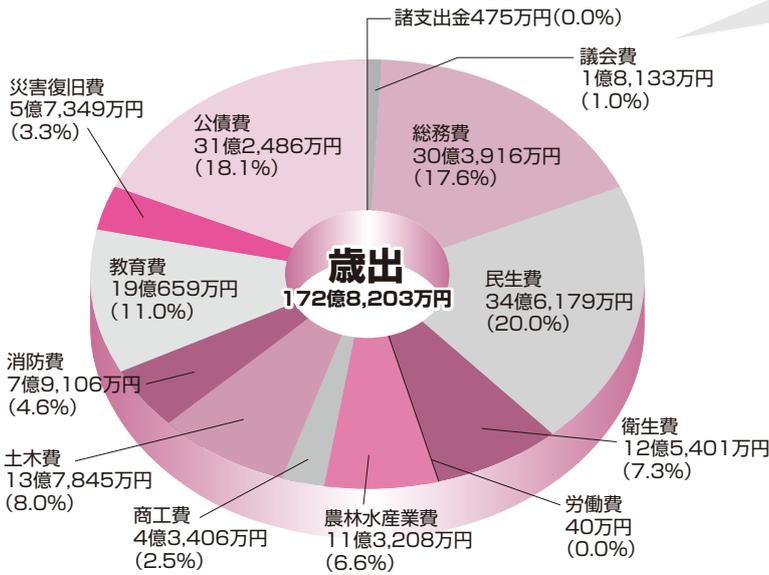
問 予算計上しないで決算に31件ほど上がり、内容も変わっているものもある。事後承諾と感じられるが。

答 補正や予備費の充用もあり、当初の予算と決算と同じにはならない。

財政用語解説②

- ▼自主財源…市税や市営住宅使用料など、市が独自に集めるお金
- ▼依存財源…国庫支出金や県支出金など市の裁量が制限されるお金
- ▼一般財源…収入した時点で使い道が特定されず市町村の判断で使えるお金
- ▼特定財源…収入の段階で使い道が特定されているお金。国庫補助金や市債、使用料など
- ▼基金…特定の目的のために積み立てるお金
- ▼財政調整基金…毎年度のやりくり用に積み立てるお金
- ▼市税…市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
- ▼繰入金…積立金を取り崩す、または、ある会計から別な会計に繰り入れるお金
- ▼繰越金…使わずに翌年度へ繰り越したお金
- ▼地方譲与税…自動車重量税などから、一定割合で交付されるお金
- ▼地方交付税…所得税

平成20年度一般会計歳出内訳



◎歳出のポイント

19年度と比べて公債費が4,379万円、災害復旧費が2億4,619万円、消防費が2億9,465万円、農林水産業費が2億4,812万円、衛生費が1億4,331万円それぞれ減っています。一方、総務費が3億1,474万円、教育費が3億3,816万円、土木費が3億2,889万円、商工費が3,401万円、民生費が1億8,271万円、それぞれ増えています。(性質別では、人件費が2,732万円、公債費が4,379万円それぞれ減少し、扶助費が5,493万円、積立金が2億6,673万円、繰出金が1億506万円それぞれ増えています)

反対



山本 榮 議員

政治の最大の役割は、住民の暮らしを守ることにある。特に今深刻な不況のもとで住民の厳しい生活がそのことを強く求めている。本来あるべき行政改革、財政運営の立場から検証すれば、新庁舎建設こそ見直し、その財源は市民の暮らし支援に使うべきである。また、経費節減を唯一の理由とした保育所民営化は、本来の行政改革の立場に反するものである。さらに、市内に温泉館事業、宿泊事業が多く存在する中で、第三セクターに公費投入を続け、民間と競合する事業を続けることは、行政改革の精神に反するものである。以上、反対の立場で討論した。議員各位の賛同を求めらるものである。

反対

討論

賛成

賛成



小野寺 昭一 議員

わが国経済や地方自治の財政状況が極めて厳しい中、本市の平成20年度決算を見ると、実質収支額約6億6700万円の赤字であり、実質公債費比率や将来負担比率も大幅に改善されている。財政調整基金も合併時から15億円以上増えるなど、手堅い財政運用を高く評価する。また、安代地区のコミュニティバス試験運行の実施、妊婦一般健診や健康審査の充実など、多様な施策を展開しており、その努力を高く評価するものである。今後も財政環境などを十分検討し、地域の均衡ある発展、市民の一体感の醸成への取り組みなど、市民の負託にこたえられるような市政運営を期待し、賛成討論とする。

- ▼交通安全対策特別交付金：交通反則金から経費を差し引き、人身事故件数や道路延長などに応じて市町村に配分されるお金
- ▼市債：建設事業などで借り、長期に返済することになるお金
- ▼公債費：市債を返済するために支払うお金
- ▼民生費：障がいがある方や高齢者の支援、子育て支援や生活保護などに使うお金
- ▼衛生費：予防接種、健康診断、ごみ処理などに使うお金
- ▼労働費：雇用確保のための作業員賃金など
- ▼農林水産業費：花き研究開発センターをはじめ、農業や林業の振興に使うお金
- ▼商工費：商工業の振興や、観光イベントなどに使うお金
- ▼土木費：道路補修や除雪、市営住宅の管理などに使うお金
- ▼消防費：消防署の経費や消防団員報酬など